

科目分類	看護専門科目（地域・在宅看護学）	開講時期	1・2年 前期
研究キーワード	患者教育		
科目名	慢性病看護学特論		
英文	Advanced Study in Chronic Illness Nursing		
選択／必修	選択	単位数（時間数）	2単位 30時間
授業形態	講義		
担当教員	山崎 松美		
メールアドレス	—	オフィスアワー	教務学生課を窓口とする

授業目的	慢性病患者の理解と援助に必要な概念・理論を、歴史および開発過程と共に理解する。また、慢性病患者を理解する上での基本的な考え方を身に付けるとともに、慢性病患者の QOL 維持・向上を目指した、効果的な支援方法を探求する能力を修得する。
授業概要	慢性病を持つ人々や家族への支援・教育に有用な概念と理論を討議するとともに、それらの背景、開発方法、歴史を学ぶことで、慢性病看護の動向および理論・概念開発方法の基本的知識を修得する。また、慢性病を持つ人々を理解する研究手法や技術について学び、討論することにより、対象理解の方法と看護的視点を身に付ける。
授業計画	<p>第1回 慢性病看護と患者教育の歴史的変遷</p> <p>第2回・3回 慢性病患者に対する介入研究の動向と用いられている手法・理論</p> <p>第4回・5回 慢性病患者の理解に有用な理論【病みの軌跡，死の受容】</p> <p>第6回・7回 慢性病患者の理解【病いの意味，スティグマ】</p> <p>第8回 慢性病患者の支援に有用な理論・手法① 【自己効力感，トランスセオレティカルモデル，成人教育】</p> <p>第9回 慢性病患者の支援に有用な理論・手法② 【動機づけインタビュー，エンパワーメント】</p> <p>第10回・11回 慢性病患者の支援に有用な理論・手法③【その他】</p> <p>第12回・13回 慢性病患者の理解に用いられる研究手法【現象学的アプローチ】</p> <p>第14回・15回 慢性病患者のセルフマネジメント支援における課題</p>

<p style="text-align: center;"><b>教材 参考文献等</b></p>	<p>参考文献：</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) Pierre Woog (編) / 黒江ゆり子他 (訳) : 慢性疾患の病みの軌跡 コービントストラウスによる看護モデル、医学書院、1995</li> <li>2) Arthur Kleinman (著) / 江口重幸他 (訳) : 病いの語り 慢性の病いをめぐる臨床人類学、誠信書房、1996</li> <li>3) A. L. Struss and Juliet. Corbin et. al (著) / 南裕子 (監訳) : 慢性疾患を生きる ケアとクオリティ・ライフの接点、医学書院、1987</li> <li>4) I. M. Lubkin et. al (著) / 黒江ゆり子 (監訳) : クロニックイルネス 人と病いの新たなかかわり、医学書院、2007</li> <li>5) 野川道子 (編著) : 看護実践に生かす中範囲理論、メヂカルフレンド社、2010</li> <li>6) 佐久川肇 (編著) : 質的研究のための現象学入門 第2版、医学書院、2013</li> <li>7) A. Bandura (監修) / 本明寛・野口京子 (監訳) 激動社会の中の自己効力、金子書房、1997</li> </ol> <p>その他、適宜資料の配布、文献の紹介を行う</p>
<p style="text-align: center;"><b>成績評価 基準・方法</b></p>	<p>プレゼンテーション (30%)、討論への参加 (40%)、レポート課題 (30%)</p>
<p style="text-align: center;"><b>履修要件</b></p>	<p>なし</p>
<p style="text-align: center;"><b>関連科目</b></p>	<p>なし</p>
<p style="text-align: center;"><b>留意事項 その他</b></p>	<p>なし</p>